

あこう風(のたより)



発行責任者 西川 晃二

【校長室より】

母校愛・郷土愛

今年は冷夏に、多雨、さらには御嶽山噴火。自然の猛威を前に人間はなすすべを奪われたかのような状況です。東日本大震災と津波被害、広島土砂災害、そして今回の御嶽山。被害に遭われた皆様には心からお見舞いを申し上げます。

昨年度の「あこう風」にても書きましたが、「仕事が人を作る、学校行事が生徒を作る」文化祭（五高祭）、体育祭が終了しました。毎年実行委員を中心に生徒たちが作り上げる「行事」であり、それ故にこそすばらしいできばえを見せてくれます。五高生の力に改めて感心、感動するところです。特に今年の体育祭では自分自身あることに気づきました。これまで学校行事は「見せる」もの、生徒の成長を保護者等に知ってもらおうもの、という教師目線の意識が強くありました。確かに、それもあります。今年の場合、特に生徒自身が大いに「楽しんでいる」と言うことに気づいたのです。「やらされ感」は微塵もなく、上級生は下級生の指導に熱心に取り組み、下級生は次年度の主人公を目指して頑張っている、その姿に感動を受けました。応援合戦では3つ学年の生徒が一体となり、3年生の団別演技ではテーマ性のある演技を披露しました。そして、体育祭最終の演目「サークル」。全学年がグラウンド中央に集まり、各団の団長を中心にエールの交換。遠征歌の熱唱と校歌放吟。円陣を組む誰もが一つになった瞬間でした。その時、こうして、生徒たちは母校への思いを育て、郷土への愛を抱くのだと、気づいたのです。五高ならではの、すばらしい行事だと思いました。かつての先輩方が意図したものがそこにあったのです。五高校長3年目にしてやっと気づいた次第です。月並みですが「感動をありがとう」と生徒たちに感謝です。

さて、9月21日の朝日新聞にて本校が取り上げられました。生徒減に悩む離島3校の留学制度の紹介記事です。本校を中心にした記事内容でしたので、お読みになる機会がなかった方のために、以下転載いたします。少々、読みづらいかも知れませんがご容赦ください。



離島へ留学において

五島・壱岐・対馬高 県内外から生徒募集

人口減 それでも

教育 2014 下

五島市の五島高校の普通科にはスポーツコースがある。3年の町山アルファ君(17)はインターネットで県の離島留学制度を知り、埼玉から来た。ロンドン五輪などで優勝したウサイン・ボルト選手にあこがれ、陸上を始め、一環切な人が多く、魚もおいしい。自然の中でトレーニングができる。けがに泣かされ、思っずに

五島高校スポーツコースの剣道の授業。離島留学している3年丸山智星さん(中央)は、寮生活で「何でも自分でする習慣が身についた」五島市

活躍できなかったが、卒業後は米国に留学し、スポーツトレーナーをめざす。

県は目的意識の高い生徒を集めることで地域を活性化しよう。2003年度から五島、壱岐、対馬各高で、離島留学制度を導入し、県内外から生徒を募集している。五島高はスポーツ、壱岐高は中国語と歴史、対馬高は韓国語のコースを設けている。

五島高のスポーツコースでは柔道、剣道、陸上を専門とする生徒を毎年約20人募集している。同コースの在校生41人のうち、五島学区以外の出身者は、島出身者の流出を食い止める「堰」でもある。五島市立福江中出身の3年、戸野不幸輝君(17)は柔道で今夏の全国高校総体(インターハイ)に出場した。進学時には島外の私立高からも誘いがあったが「スポーツコースで、思い切れて」と思ったと語る。

五島高は多方面でも島外の生徒の呼び込みをはかり、進学実績を積極的にPRしている。西川晃一校長によると、かつて島内中学の卒業生の約20%が島外に進学していたという。だが、国の学力向上事業の指定校となり、09年からは同高が大学入試センター試験の会場にもなった。同試験受験率は60%台から90%台へと上昇し、進学希望者の半数以上が大坂大など国公

立大や難関私立大に合格するようになったという。「(進学先とされる)長崎市内の」長崎5校に続く学校として認識してもらいたい。攻めの姿勢で、正のスパイラルに持ち込みたい」と西川校長は意気込む。現在、進学をめざす普通科普通コースには本土出身の3年生が2人いる。課題は経済的負担。島外出身者は寮や下宿費がかかるため、軽減策を検討している。(菅野みゆき)

高校生の離島留学制度 平成27年度 大募集

五島高校 スポーツコース

第2回体験入学 11月9日(日)

五高祭 30日(土)・31日(日)

「みなさんに将来の夢はありますか？それは、職業であったり、生活であったり、人によって様々だと思います。夢がないという人もいるでしょう。ですがどんな人にも、小さくても目標があるはず。人間は目標がないと前へ進むことは難しい。だから、今この瞬間も、一人ひとり何かしらの道標を頼りに前へ進もうとしているのではないのでしょうか。しかし、道標があるからといって必ずしも進めるとは限りません。何かにつまずいたり、壁が立ちだかかって止まったり、あるいは、後ろを振り返り、歩みが遅くなってしまふ人もいられるかもしれません。そして、道標がかすんでしまい、来た道に戻ったり、寄り道をしたりして、諦めたくなることもあるでしょう。

「だけど、そんなときは、思い出してください。私達はひとりではありません。私達にはどんなものにも負けない強い絆があります。私達それぞれが大きな「絆(わ)」の一部です。どんな時も、支えあい、前へ進み続けましょう。」

今年度の五高祭は、実行委員のこの強い思いが成功に導きました。3ヶ月間試行錯誤を繰り返し、最後の最後まで諦めずに準備を続けた五高生の底力を実感しました。この五高祭で終わりではなく、始まりとして、五島高校全体が盛り上がっていただければと思います。各方面でご協力していただいた多くの方々にこの場をかりて感謝申し上げます。ありがとうございました。



五高祭実行委員長 2年5組 大村美優ジン

最初の五高祭実行委員会が行われてから五高祭当日までの約3ヶ月は本当にあっという間でした。初めの頃は人数が足りず、少しバタバタとしたスタートでした。話し合いもあまり自由な意見が出てこなかったため、「今年の五高祭を楽しんでもらえるのだろうか…」という不安がいつも頭の真ん中にどっかりと居座っていました。しかし本番が近づくと、分からないことばかりだけど分からないなりに「魅せる」側として、五高祭を成功させようという思いが、委員の中で一致していくのを感じました。だから、その強い思いが五高祭を成功へ導いたのだと思います。グランドフィナーレが無事に終わったときは本当にホッとしましたが、それと同時にあんなに忙しかった毎日が明日から無くなると考えると少し寂しくもありました。今回の経験は人生の宝になると思います。今後の生活にしっかりと活かしていきます。



モザイクアート最優秀賞 1年5組

1年5組は、担任の先生である猿渡先生をモザイクアートの原画にしました。私たちは、「一心となる」ことを意識しながら、全員で猿渡先生を完成させることができました。五高祭のテーマである「絆」を形にできたと思っています。

最初は、作業するペースが遅く、期日までに間に合うか不安でしたが、クラス全体でまとまり、協力し合い、絆を深め、最終的に巨大な猿渡先生が完成しました。クラスの出し物と並行して準備を進めることは大変でしたが、貴重な体験をさせてもらうことができました。これからも「一心となる」ことを意識し、クラスのスローガンである「一心五組」を体現し、みんなで助け合えるクラスになりたいです。



第63回体育祭 7日(日)

第63回体育祭が9月7日、『躍動～燃やせ闘志、輝け笑顔、起こせ旋風～』のテーマのもと、晴天の中開催されました。今年度の体育祭はまれにみる混戦となり、各競技・種目において下記の通り各団が輝きを見せてくれた素晴らしい体育祭でした。

学校全体の行事へ向かうまとまりや勢いを今後の生活や、進路実現へのパワーへつなげてほしいと思います。

総合優勝・・・青団
 競技の部・・・黄団
 応援合戦・・・青団
 入場行進・・・赤団
 団別演技・・・青団
 応援幕・・・黄団



体育祭実行委員長 3年3組 山田新一郎

最初は、実行委員がどんな仕事を行い、体育祭に向けてどのような準備をしていくのか全く分からず、体育祭が近づくにつれて不安が募っていきました。しかし、濱口先生が助言を下さったり、実行委員の皆がサポートしてくれたりしたおかげで、なんとか無事に体育祭を終えることができました。実行委員長という仕事を通して、先を見越して行動することや、どのような指示をすればうまく仲間に伝わるかなど、リーダーに必要なものが何なのかを学ぶことができたと思います。これからの人生において大きな財産になりました。本当に有り難うございました。



赤団団長 3年2組 中山拓人

本当にみなさんお疲れ様でした。最高の体育祭でした。本当に感動しました。たくさんの人に支えられて体育祭を創り上げられたと思っています。一、二年生のみなさん、時間を見つけて積極的に練習に来てくれてありがとう。本当にいい後輩をもちました。また先生方や地域の方々にはたくさん迷惑をかけました。怒らせました。すみませんでした。でも、そのおかげで勉強と準備にメリハリをつけることができたと思っています。みなさん、本当にありがとうございました。

三年生はもう受験に向けてまっしぐらです。仲間と共に最後まで戦い抜きましょう。一、二年生は部活動も勉強も悔いなくやってください。あっという間に三年生になるので。五高生みんな一つになって頑張っていきましょう。

“五島高校は永久に不滅です”よ!



黄団団長 3年5組 濱村歩夢

僕が体育祭の団長を経験してみて最も良かったと思えることは体育祭を楽しむことができたということです。応援合戦や競技練習などでたくさんの衝突があり僕が団長でなければ良かったのにと度々思いました。しかし仲違いをするのも皆が本気で体育祭のことを考えていたからだだと思います。辛いこともありましたが最後は笑って終わることが出来たので団長をすることができて本当に良かったです。今黄団のメンバーに伝えたい事は”ありがとう”です。皆が一生懸命に協力してくれて本当に感謝しています。僕にとって黄団のメンバーは最高に輝いていました。このメンバーでできる最高の体育祭は最初で最後でしたがとても楽しかったです。1、2年生よ、主役はいつでも自分ということを忘れるな!!今を楽しめ!!3年生、これから一緒に頑張ろう。

青団団長 3年3組 安永武志郎

青団の皆さん、体育祭お疲れまでした。3年生は本当に色々な事がありました。それでも、皆で話し合い協力して乗り越えたから、優勝できたのだと思います。「青団は優勝できない」「3年のスポーツコースは優勝できない」といったジンクスも見事打ち破ることができました。歴史に名を刻んだ最高の体育祭となりました。1・2年生の皆さんは、僕たちについてきてくれて有り難う。君達の協力なしでは優勝はできませんでした。君達のような素直な後輩が同じ団で本当に良かったと思います。感謝しています。そして、来年も今年以上に素晴らしい体育祭にして下さい。期待しています。先生方、お忙しい中、ご指導いただきありがとうございました。とても良い経験になりました。

最後に、、、「俺たち、冠碧♪イエ〜イ」



3年生学年集会 9日（火）

9月9日（火）1時間目に学年集会が行われました。体育祭からの切り換えを素早くして、本格的な受験勉強をスタートさせるためです。それぞれが、いろんな決意をしてくれたと思います。目標や夢をしっかり持って、毎日、小さいことを積み上げていってください。また、午後には、進路別のミニ集会も行われました。これからは、体育祭で構築した団結力を生かして、目標を同じくする友人たちと切磋琢磨してください。どうか、それぞれの夢が叶いますように。

（以下は、生徒代表決意表明で各団の団長が話してくれたことです。）

赤団団長 中山拓人

実行委員の皆さんをはじめ、3年生の協力のお陰で体育祭は成功に終わりました。体育祭の期間中、勉強が疎かにならないようにメリハリをつけてきました。私たちには、もう受験しかありません。やってやりましょう、春に笑えるように。

青団団長 安永武志郎

団長の責任の重さを痛感しました。優勝は、サポートしてくれた人たちのお陰です。苦労も多かったですが、努力は報われることを知りました。次は、大学生になるために努力します。自分との闘いに必ず勝ちたいと思います。残りたった半年です。絶対にやってやります。

黄団団長 濱村 歩夢

努力したのに優勝できなかった悔しさがあります。でも、皆が協力して一生懸命に取り組んでくれたから、悔しさより、嬉しさの方が残りました。団長にしてくれてありがとうございました。3年生の団結力は最高です。次は受験勉強に生かしましょう。入学からこれまで、あっという間に時間が過ぎていきました。恐らく、受験までもあっという間です。大切な人を笑顔にするためにも、皆で頑張りましょう。

親子ふれあい活動（8月26日、9月2・4日）

幼児親子に高校へ来ていただき、乳幼児親子と生徒がふれあいの時間を持つ取り組みです。

| 日 時 | クラス |
|-------------|-----|
| 8月26日（火）3校時 | 1-5 |
| 〃 4校時 | 1-6 |
| 9月 2日（火）3校時 | 1-4 |
| 〃 4校時 | 1-2 |
| 9月 4日（木）3校時 | 1-1 |
| 〃 4校時 | 1-3 |



活動を終えたあとの生徒の感想

「お母さん方が、質問に丁寧に答えくださり、話を聞くと子育ては大変なんだなと思いました。お母さん方の、子どもを見つめる目線がとても優しく、どのお母さんもとても楽しそうに子どもの話をしているのが印象的でした。子どもを育てるのは大変だけど、とても楽しそうだなと感じました。赤ちゃんを抱っこさせてもらった時に、とても温かくてふにふにして可愛くて、こんなに小さいのに意外と重くて落とさないように注意していても少し怖かったです。命の重みを感じました。今回の体験を通して、私もこんな時期があったのかと不思議な気持ちになりましたが、これまで16年間育ててくれた両親にもっと感謝しようと思いました。」

なかなか乳幼児親子と交流できる機会もないので、貴重な時間を過ごすことができました。

実施にあたり、親子募集の声かけから、参加いただいた親子まで、たくさんの方々にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

新ALT紹介

Jennifer Elizabeth Blalock (ジェニファー・エリザベス・ブラロック) 先生が新しく五島高校に来られました。

ジェニファー先生からメッセージ

五島に来ることができ、そして五島高校で教鞭をとることができ、とてもわくわくしています。こちらに来て2ヶ月が経ちますが、五島での生活はとても楽しいです。皆さんが私を歓迎し、手助けしてくれますし、海は本当に美しいです。楽しみにしていることはこの島をもっと散策することと先生方・生徒たち・地域の方々との親交を深めることです。どうぞよろしくお願ひいたします。

五高祭・体育祭バザー お礼

8月30・31日の五高祭において食物・飲料・リサイクルバザーを、9月7日の体育祭において飲料バザーを実施しました。当日はご多忙の中、PTA総務委員を中心に延べ80名近くの保護者の方々に調理・販売のお手伝いをいただきました。また、リサイクルバザーの物品提供や準備に関しましても、たくさん保護者の皆様の御協力をいただきました。今回のバザーの収益につきましては、五高祭・体育祭のうちわ作成費や2月に予定されているマラソン大会での豚汁炊き出し等の費用として、生徒に還元していきたいと思っております。御協力ありがとうございました。